

このたびは、リーマン・チャイルド&ジュニアシートをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用前には、必ず本書をお読みの上、記載された内容に従って正しくお使いください。
この取扱説明書は、2枚で構成されています。お読みになった後も紛失されないように大切に保管(座面側面の収納ポケット)し、必要に応じてお読みください。

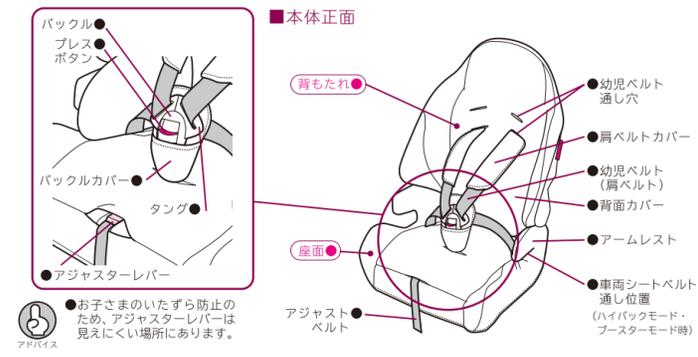
取扱説明書 保証書付

商品名 **ロングフィット** 型式: 1024A

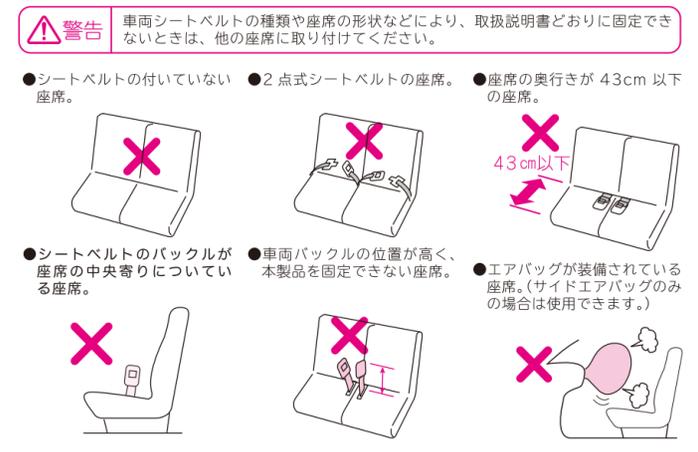
●本装置は「汎用」年少者用補助乗車装置です。本装置は車両で一般的に使用するものとして、規則 No.44 の04 改訂シリーズに基づいて認可されており、一部を除いて大抵の車両のシートに適合します。
●車両メーカーの車両ハンドブックに当該車両がこの年齢層向けの「汎用」年少者用補助乗車装置を搭載できると記載されている場合は、装置が正しく取り付けられることはほぼ確実です。
●本装置は、認可された車両が UN/ECE 規則 No.16 または同等の基準で認可された 3 点式/巻取り装置なし/巻取り装置付き安全ベルトを装備している場合のみに適しています。
●年少者用補助乗車装置は、この注意書きが貼付されていない従来の設計よりも厳しい条件に基づいて「汎用」装置に分類されています。
●疑問があるときは、年少者用補助乗車装置のメーカーが販売店にご相談ください。

A-3 各部の名称

ご使用前に、各部品がそろっているかご確認ください。
なお、使用方法などをわかりやすく説明するために、この取扱説明書で使用しているイラストは、実際と異なる場合があります。



A-6 取り付けできない座席



A-1 もくじ

本書の見方

- もくじ右表記の「1, 2, 3, 4」は取説各面上の番号を表します。
- もくじ内容に沿って、説明見出し (A-1, A-2・・・) の順でお読みください。

●お使いいただく前に

- もくじ A-1
- 表示マークについて A-2
- 各部の名称 A-3
- お子様の体重にあわせた使い方 A-4
- シートベルトの種類と使用上の注意 A-5
- 安全にお使いいただくために A-7

●組み立て

- 組み立て B-1
- ヘッドサポートの取り付けと使い方 B-2

●チャイルドモードの使い方

- 使用前の準備 C-1
- 車両の取り付け方 C-2
- チャイルドモードの取り付け完了チェック C-3
- 取り付けできない座席 C-4

●ハイバックモードの使い方

- 使用前の準備 D-1
- ハイバックモードへの変更の仕方 D-2
- バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし D-3
- バックルの取付け D-3
- 肩ベルトハンガーの収納 D-4
- 幼児ベルトの収納 D-5
- 背もたれを取り付ける D-6

●ブスターモードの使い方

- 使用前の準備 E-1
- ブスターモードへの変更の仕方 E-2
- 車両の取り付け方 E-2
- お子さまの座らせ方 E-3
- ブスターモードの取り付け完了チェック E-4

●チャイルドモードへの戻し方

- 幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し F-1
- 幼児ベルトの取り付け F-2

●お手入れの仕方

- ヘッドサポートの取りはずし G-1
- 背もたれカバーの取りはずし G-1
- 座面カバーの取りはずし G-2
- 洗濯方法/日常のお手入れ方法 G-3

●保管/廃棄の仕方/製品仕様

- 保証書

A-2 表示マークについて

警告	記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。
注意	記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。
禁止	図示されている内容の禁止を示しています。
Check	安全のため、かならず確認していただきたいこと。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

●この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなど次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

本製品は、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、本製品を使用するときは、必ず保護者の方が同乗してください。

A-4 お子さまの体重にあわせた使い方

お子さまの体重に合わせ、3つのモードで使用します。

体 重	9kg以上～18kg以下	15kg以上～25kg以下	22kg以上～36kg以下
身長のみやす	70～105cm	98～120cm	117～145cm
年齢のみやす	1才頃～4才頃	3才頃～7才頃	6才頃～11才頃
モード	チャイルドモード	ハイバックモード	ブスターモード
使用状態			
使用方法	本製品を車両シートベルトで密着に取り付け、本製品の幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトは使用せず、車両シートベルトでお子さまを拘束します。 肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が18kg以下の場合にはできる限りチャイルドモードを使用することをオススメします。	幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれも取りはずして座面のみで使います。 車両シートベルトでお子さまを直接拘束します。
取り付け説明	2 C-1～3 C-4参照	3 D-1～4 D-10参照	4 E-1～E-4参照

警告 ●身長のみやすや年齢のみやすは、あくまでも目安です。もし身長や年齢が上記条件を満たしている場合でも、「体重条件」を満たしていないお子さまは、そのモードではご使用できません。

A-5 シートベルトの種類と使用上の注意

車種適合につきましては当社サイトにてご確認ください。URL: www.leanman.co.jp

本装置は車両が 3点式/巻取り装置なし/巻取り装置付座席ベルトを装着している場合に使用できます。

●車両には、各種のシートベルトが装備されています。それぞれの特徴も違い、取り付け方法も変わってきます。本製品を正しく安全に使用するために、お客さまの車両(シートベルト)に合った取り付け方法で装着してください。

	巻取り装置有り						パッシブ	巻取り装置無し
	ELR付		ALR付		NLR付			
	肩側	腰側	肩側	腰側	肩側	腰側		
3点式	○	×	※	※	○	○	×	○

●車種シートベルトの種類 (○: 取り付け可能 ×: 取り付け不可 ※: 下表参照)

●取り付け可能なシートベルト

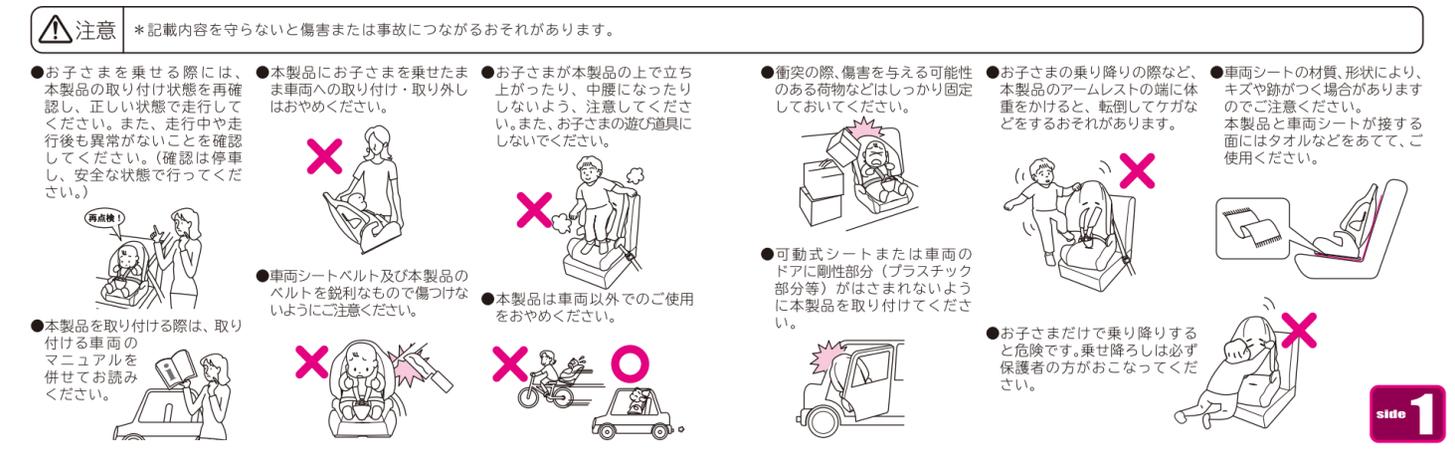
	特 徴	チャイルドモード	ハイバックモード/ブスターモード
ELR・ALR付 3点式シートベルト (チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻取り装置)	通常は ELR ベルトとして機能しますが、ベルトを全量引き出すと ALR 機能が切り替わり、戻す方向にベルトが自動的にしまるシートベルトです。また、ベルト全量戻したときは ELR 機能に戻ります。	本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してから、シートベルトを全部引き出し、ALR 機能に切り換えてください。	シートベルトを全量引き出すと ALR 機能が働き、危険ですので、ALR 機能を使用しないでください。
ALR付 3点式シートベルト (自動ロック式 ベルト巻取り装置)	ベルトを引き出す途中で手で止めると自動的にベルトがロックされ、それ以上引き出せません。	本製品を固定するのに必要なだけの長さを一気に引き出してから、本製品をロックオフレバーでしっかりと固定してください。	本製品を固定することができません。
ELR付 3点式シートベルト (緊急ロック式 ベルト巻取り装置)	通常は、ベルトが自由に入ったり、衝撃(急ブレーキなど)を感じたときに、ベルトがその時点で伸びなくなりロックされます。	肩ベルトをロックオフレバーでしっかりと固定してください。	ゆっくりとシートベルトを引き出し、取り付けてください。
NLR付 3点式シートベルト	ロック機構がなく、ベルトを全量引き出した状態で長さを調節します。	巻き取り装置から全量引き出し、本体の取り付けに合わせたシートベルトの長さを調節し、固定します。	本製品に合わせたシートベルトの長さを調節し、取り付けてください。
パッシブシートベルト	座席に乗ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着され、ドアを開けると自動的にシートベルトが外れるタイプのシートベルト。	本製品を固定することができません。	本製品を固定することができません。
その他のシートベルト	表記されていないものすべて。	本製品を固定することができません。	本製品を固定することができません。

●取り付けの際は、装着車両の取扱 注意 説明書もお確かめください。

A-7 安全にお使いいただくために



A-7 安全にお使いいただくために



■組み立て

B-1 背もたれの取り付け方

本製品は「背もたれ」と「座面」がはずれた状態で梱包されています。チャイルドモード(本面C-1参照)や、ハイバックモード(本面D-1参照)で使用する場合、背もたれと座面を組み立てて使用します。

⚠️注意

- 組み立てる際は、製品の破損や床の傷つきを防ぐため、平らで柔らかい床で作業してください。
 - 組み立てる際は、周辺のものや人に気をつけ、指などをはさまないように注意して行ってください。
 - 組み立てた本製品を持ち運ぶ際には、図のように持ち、背もたれと座面の間に指などはさまないように注意してください。
- ※組み立てた本製品の背もたれと座面の接合部は前後に動きます。
- 
- ベルトなどを、背もたれと座面の間にはさまないようにご注意ください。

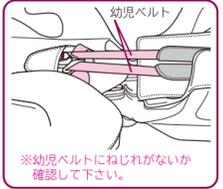
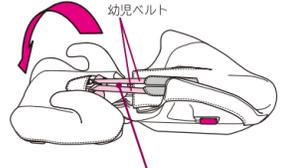
背もたれの取り付け

1 梱包状態から座面をひっくり返し右図のようにし、幼児ベルトにねじれがないか確認する。

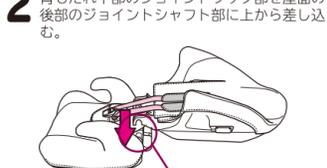
■梱包状態



*座面は横向き、裏返しに梱包されています。



*幼児ベルトにねじれがないか確認して下さい。



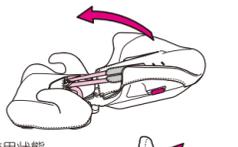
背もたれ
ジョイントフック部
座面
ジョイントシャフト部

*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

⚠️注意

- 使用前に、必ず次の内容を確認してください。本製品が本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。
- お子さまを本製品に座らせる前に、背もたれと座面がしっかり接合されているかをご確認ください。
- チャイルドモードで使用する場合、アームレストの外側を幼児ベルトが通っていないかをご確認ください。
- 幼児ベルト等が座面と背もたれのジョイント部にはさまれていないかをご確認ください。

3 **ベルト等をはさまないように注意しながら**、ゆっくりと背もたれを「カチッ」と音がするまで起こす。



■使用状態



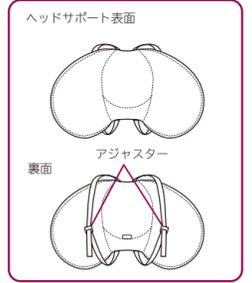
背もたれの取りはずし

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートは、チャイルドモード(本面C-1参照)でのみご使用できます。お子さまの体形に合わせ任意にご使用ください。

⚠️注意

- ヘッドサポートは頭周りのクッションとして使用する部品ですが、体型によりお子さまが不快感を感じるようであれば、使用を中止してください。
- 取りはずしたヘッドサポートは車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときやカーブを曲がる際、車内に転がり、運転に支障をきたすおそれがあります。
- 本製品を持ち運ぶ際は、ヘッドサポートを持って運ばないでください。製品が落下し、製品の破損や床を傷つけるおそれがあります。
- ヘッドサポートは、この取扱説明書に記載されている使用方法以外では使用しないでください。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

B-2 ヘッドサポートの取り付けと使い方

ヘッドサポートの取り付け

1 取り付け方向に注意して、ヘッドサポートの連結ベルト下側を肩ベルト通し穴に通す。

*連結ベルトは肩ベルトと同じ高さの肩ベルト通し穴に通してください。

2 連結ベルト上側をアジャスターに通す。

*本体背面 連結ベルト上側

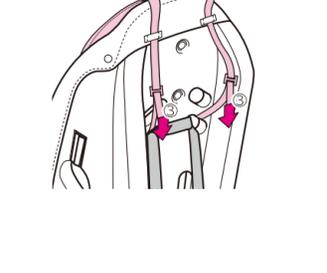
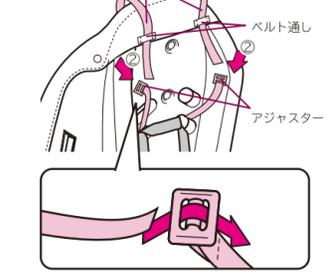
3 連結ベルト上側をたるみがなくなるまで引っ張る。

*本体背面

4 サイドクッションの位置を整える。
*お子さまの顔の位置に合わせて、ヘッドサポートをスライドさせて、高さを調節してください。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。



ヘッドサポートの取りはずし

■チャイルドモードの使い方

C-1 使用前の準備

使用前の準備

体重	9kg以上~18kg以下
身長のみやす	70~105cm
年齢のみやす	1才頃~4才頃
使用方法	本製品を車両シートベルトで座席に取り付け、本製品の幼児ベルトでお子さまを拘束します。

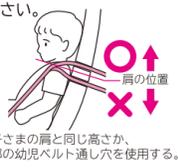


幼児ベルトの高さ調節

お子さまの肩の高さに合わせ、幼児ベルト通し穴の位置を決めてください。

1 幼児ベルト通し穴の位置を決める。お子さまを本製品に深く座らせ、適切な幼児ベルト通し穴の位置を確かめる。

- 幼児ベルト通し穴の位置は、お子さまの肩と同じ高さか、上部の幼児ベルト通し穴をご使用ください。
 - 左右同じ高さの幼児ベルト通し穴をご使用ください。
- *バックルの長さや位置は調節できません。幼児ベルトを調節してください。

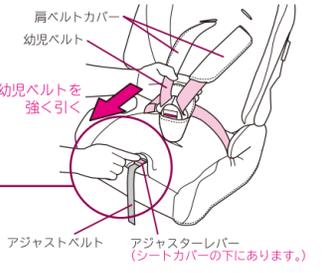
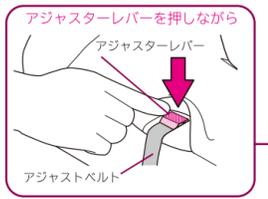


お子さまの肩の高さに合わせて、幼児ベルトを調節します。

2 幼児ベルトを引き出す。座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方の幼児ベルトを強く引き、すべて引き出す。

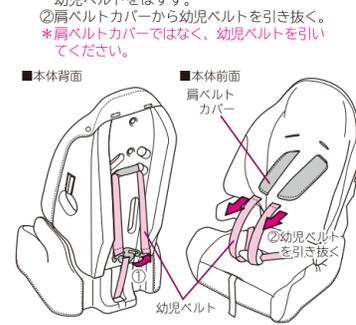
*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。
*ヘッドサポートを使用中の場合は、はずす。(本面B-2参照)

- お子さまのいたずら防止のため、アジャスターレバーは見えにくい場所にあります。
- アジャスターレバーは、奥側を確実に押ししてください。
- アジャスターレバーが動かない場合は、アジャストベルトを手前に引きながら、アジャスターレバー奥側を強く押し込んでください。



C-1 使用前の準備

3 幼児ベルトを取りはずす。
①本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
②肩ベルトカバーから幼児ベルトを引き抜く。
*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトを引いてください。



⚠️警告 必ず肩ベルトカバーを使用してください。

4 肩ベルトカバーの位置を変える。
①本体背面から肩ベルトカバーを左右片方ずつ引き抜き、一度取りはずす。
*左右の肩ベルトカバーは、本体背面で連結ベルトにつながっています。
②肩ベルトカバーを適切な幼児ベルト通し穴に通す。
*「幼児ベルトの高さ調節」(本面C-1)を参照してください。

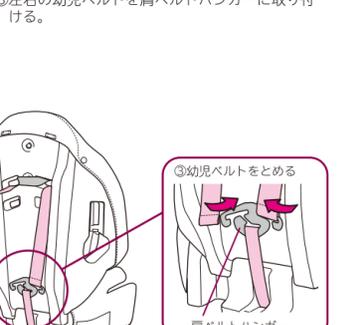


●肩ベルトカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を幼児ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

5 幼児ベルトを取り付ける。
①幼児ベルトを肩ベルトカバーに、ねじれがないように通す。
②本体背面に幼児ベルトを引き出す。
③左右の幼児ベルトを肩ベルトハンガーに取り付ける。



④幼児ベルトをとめる



C-2 車への取り付け方

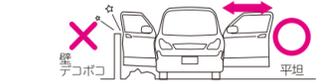
取り付けの注意

車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。「取り付けできない座席」(本面A-6)を参照してください。

- 車両シートベルトの種類や座席の形状などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取り付けてください。
- エアバッグ装備の座席には使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により強い衝撃を受け危険です。※サイドエアバッグのみ装備されている場合は使用できます。
- 車両シートベルトに傷があると、万のときにベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあり危険です。その場合は他の座席に取り付けてください。
- 車両シートベルト以外のひもなどは固定しないでください。
- 本製品を助手席に取り付けたとき、本製品とシフトノブやサイドブレーキなどが干渉する場合があります。干渉する場合は助手席でのみご使用をやめ、後部座席でご使用ください。
- お子さまが乗っていない場合、本製品はトランクに収納しておくか、車両シートベルトでしっかりと固定しておいてください。
- 後部座席に人が乗る場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出口確保のため、取り付けないでください。

取り付ける前に

1 取り付け作業は、ドアを全開できる、平坦な場所でおこなってください。

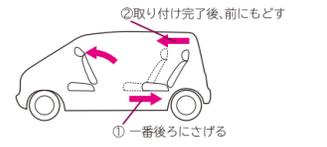


2 作業スペース確保のため、車両前部座席を前にスライドさせ、前に倒してください。



Ⓜ️アドバイス

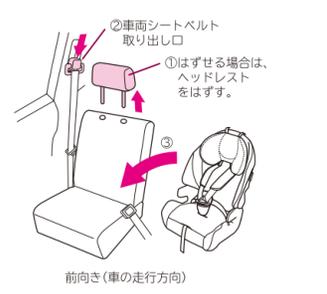
①本製品を取り付ける前に、取り付け座席を一番後ろにさせます。
②取り付けが完了した後、取り付け座席を前にもとします。



座席の準備

1 本製品を正しく取り付けるため、車の座席を調節する。

- ①座席のヘッドレストをはずせる場合は、はずす。
- ②車両シートベルトの高さが調節できる場合は、**最下段まで**下げる。
- ③本製品を前向きに置く。



⚠️注意

●取りはずしたヘッドレストは車内に放置しないでください。急ブレーキをかけたときやカーブを曲がる際、車内に転がり、運転に支障をきたすおそれがあります。

C-2 車への取り付け方

2 車両の座席の背もたれと本製品との間に、すき間ができないよう調節する。

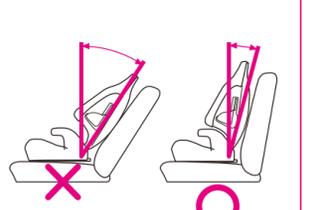
●車両の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、座席との間にすき間ができないよう本製品の背もたれ角度を調節してください。



⚠️警告 本製品と車両の座席との間にすき間があると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。

⚠️警告

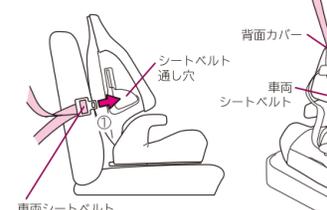
●座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、事故などの際、本来の機能を果たさず、危険です。



車への取り付け方

1 車両シートベルトを取り付ける。
①車両シートベルトにねじれが発生しないよう、ゆっくりと引き出し、シートベルト通し穴に通す。

②背もたれの背面カバーをめくり、車両シートベルトがねじれていないことを確認する。
③車両バックルのタンクを反対側のシートベルト通し穴から出す。
④車両バックルに『カチッ』と音がするまで差し込む。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

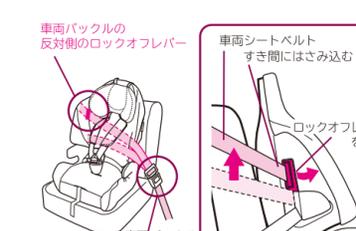
⑤車両シートベルトにねじれがないこと



2 ロックオフレバーに車両シートベルト(肩側)をセットする。

①車両バックルと反対側のロックオフレバーを開いて、車両シートベルト(肩側)をはさむ。

*車両シートベルトはロックオフレバーのすき間の上まで通すこと。



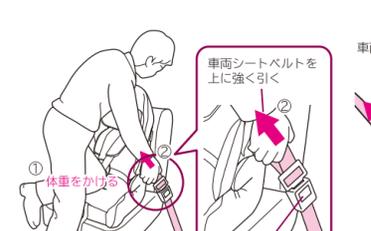
⚠️警告

●車両バックルの反対側のロックオフレバーのみを使用してください。



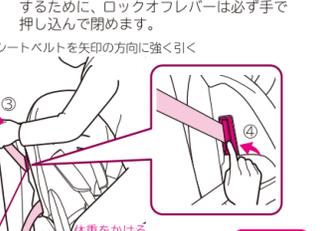
3 車両シートベルトのゆるみをなくし、本製品をしっかりと固定する。

①座面の上から体重をかけて、本製品を車両座席に沈み込ませる。
②車両バックルの上の車両シートベルト(肩側)を強く引いて、車両シートベルト(腰側)のゆるみをなくす。



③ロックオフレバーの上の車両シートベルトを強く引いて、車両シートベルト(肩側)のゆるみをなくす。

④ロックオフレバーを手で押し込んで、車両シートベルトをしっかりとロックする。
●体重をかけて沈ませたまま、②と③を同時に、ゆるみがなくなるまで繰り返します。
●車両シートベルト(肩側)をしっかりとロックするために、ロックオフレバーは必ず手で押し込んで閉めます。

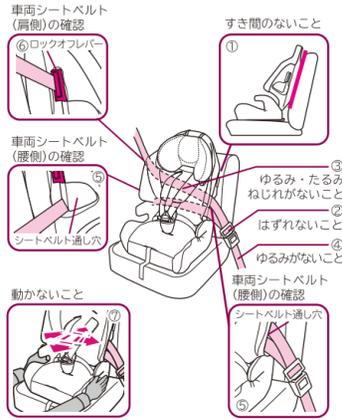


C-3 チャイルドモードの取り付け完了チェック

チャイルドモードの取り付け完了チェック

Check 取り付けが完了した後、必ず確認してください。

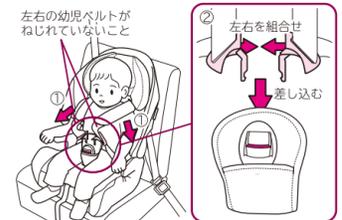
- 1本製品と車両の座席との間に大きなすき間がないこと。
2車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
3車両シートベルトが強く張られ、ゆるみ・たるみやねじれないこと。
4車両バックルベルトにゆるみがないこと。
5車両シートベルト(腰側)が左右のベルト通し穴の下にかかっていること。
6車両シートベルト(肩側)が、車両バックルと反対側のロックオフレバーで確実にロックされていること。
7座面を前後左右にゆすり、約3cm以上動かないこと。
※構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。



C57

C-4 お子さまの座らせ方

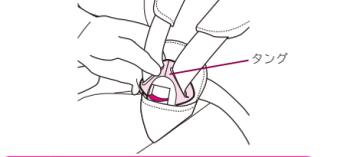
- 3 お子さまを座らせる。
1お子さまを座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
2タンクを左右組み合わせ、バックルに『カチッ』と音がするまで確実に差し込む。



警告 保護者の方が各部分に触れ、やけどなどをしないことを確認してください。

バックルのプレスボタンは、お子さまが誤って解除できないように固くしてあります。

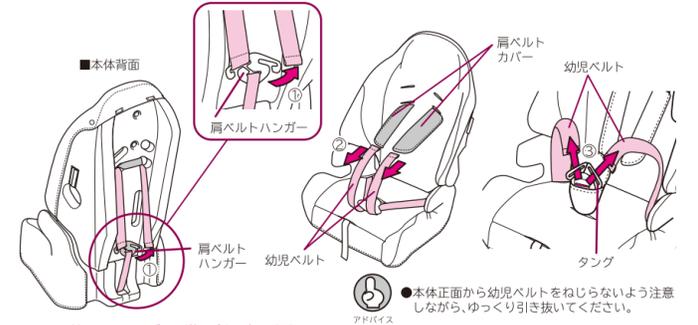
- 3タンクを引っ張り確実に差し込まれたことを確認する。



警告 左右のタンクが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突の際などにお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首にかかり窒息するおそれがあります。
バックル部分は異物が詰まったり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

D-2 バックルカバー、肩ベルトカバーの取りはずし

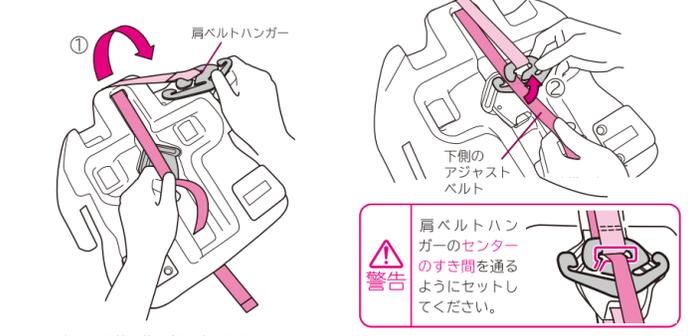
- 2 1本体背面の肩ベルトハンガーから左右の幼児ベルトをはずす。
2幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。
3幼児ベルトをタンクから引き抜く。



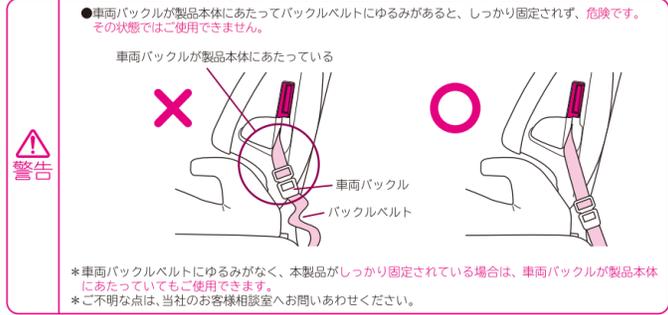
*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

D-4 肩ベルトハンガーの収納

- 肩ベルトハンガーの収納
1肩ベルトハンガーを底面にまわす。
2下側のアジャストベルトを肩ベルトハンガーのセンターのすき間に通す。
3肩ベルトハンガーをバックルの上に重ねながら、アジャストベルトを引く。



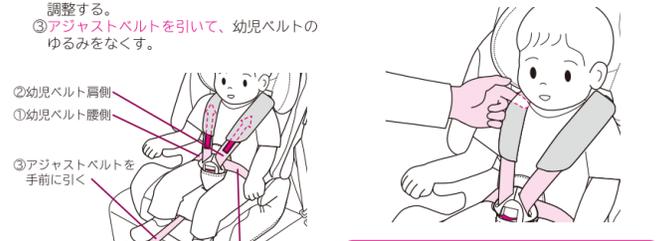
*取り出しは、収納の逆の手順で行います。



警告 車両バックルが製品本体にあたってバックルベルトにゆるみがあると、しっかり固定されず、危険です。その状態ではご使用できません。
*車両バックルベルトにゆるみがなく、本製品がしっかり固定されている場合は、車両バックルが製品本体にあたっていてもご使用できます。
*ご不明な点は、当社のお客相談室へお問い合わせください。

D-3 バックルの収納

- 1 1バックルカバーをはずす。
2ヘッドサポートを使用の場合は、はずす。(B-2参照)
3本体背面からバックルカバーを左右片方ずつ引き抜き、取りはずす。
*左右の肩ベルトカバーは、本体背面で連結ベルトにてつながっています。



警告 取りはずしたバックルカバー、肩ベルトカバーなどは大切に保管し、なくさないようにしてください。

バックルカバーが引き抜きにくいときは、本体正面から肩ベルトカバーの先端を肩ベルト通し穴に押し込むようにし、本体背面から引き抜いてください。

D-5 幼児ベルトの収納

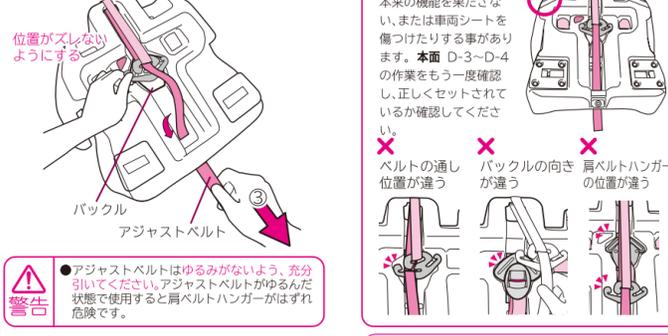
- 1 1幼児ベルトを巻き、座面中央のベルト収納穴に押し込む。
2 座面カバーウレタンを取り付ける。(G-2参照)
1アームレストにカバーウレタンをかぶせる。
2座面カバー前方をかぶせる。
34箇所あるゴムベルトを座面の底にかける。
4アジャストベルトを巻き、カバーの中に邪魔にならないように収納する。



*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

D-6 背もたれを取り付ける

- 背もたれを取り付ける。(B-1参照)
1背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

C-4 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

幼児ベルトの高さをお子さまの肩の高さに合わせてください。
※「幼児ベルトの高さ調節」(C-1)を参照してください。



D-1 使用前の準備

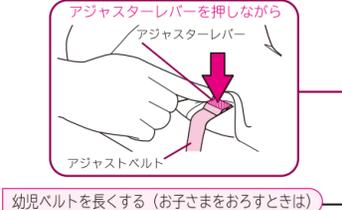
Table with columns for weight (15kg以上~25kg以下), height (98~120cm), age (3才頃~7才頃), and usage instructions.

警告 肩が上段ベルト通し穴より低く、体重が18kg以下の場合にはできる限りチャイルドモード(C-1参照)でご使用をおすすめします。

- 本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。
お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。
車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。シートベルトの種類と使用上の注意(1A-5)を参照してください。
車両シートベルトがたんだ状態を使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあります。ゆるみがないか確認してからご使用ください。
車両シートベルトに傷がある座席には取り付けしないでください。

- 1 幼児ベルトを引き出す。座面のシートカバーの下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右両方の幼児ベルトを強く引き、すべて引き出す。
*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

警告 お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引き、お子さまを拘束してください。



幼児ベルトを長くする(お子さまをおろすときは)

- 2 タングをはずす。バックルのプレスボタンを押して、タンクをはずす。



*お子さまをおろすときは、1と2の手順で行います。

D-2 ハイバックモードへの変更の仕方

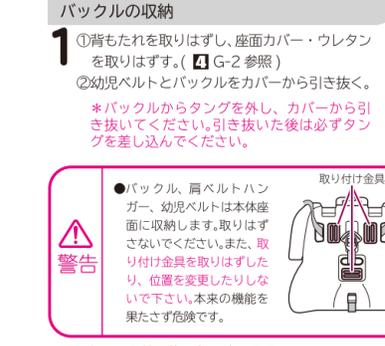
ハイバックモードへの変更の仕方
チャイルドモード(C-1参照)で使用していた幼児ベルト、バックル、肩ベルトハンガーは本体に収納します。取りはずさないでください。また、取り付け金具の位置を変更したり取りはずしたりしないで下さい。(本面D-3参照)

注意 本製品を車の座席から降ろしてから、モードの変更を行ってください。

- 1 幼児ベルトを引き出す。
1左右のタンクを組み合わせ、『カチッ』と音がするまでタンクをバックルに差し込む。
2座面前方のシートカバー下のアジャスターレバーの奥側を押しながら、左右の幼児ベルトを手前に引き、ゆるめる。
*肩ベルトカバーではなく、幼児ベルトのみを引いてください。肩ベルトカバーは本体背面でつながっており引いてもゆるみません。

D-3 バックルの収納

- 1 1バックルを取りはずし、座面カバー・ウレタンを取りはずす。(G-2参照)
2幼児ベルトとバックルをカバーから引き抜く。
*バックルからタンクを外し、カバーから引き抜いてください。引き抜いた後は必ずタンクを差し込んでください。



*取り出しは、収納の逆の手順で行います。

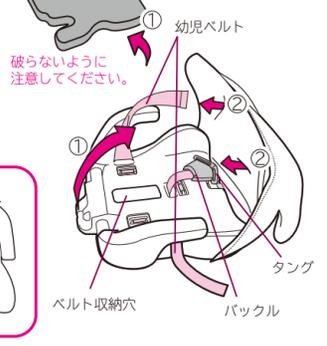
D-4 幼児ベルトの収納

- 1 1バックルを取りはずし、座面カバー・ウレタンを取りはずす。(G-2参照)
2幼児ベルトとバックルをカバーから引き抜く。
*バックルからタンクを外し、カバーから引き抜いてください。引き抜いた後は必ずタンクを差し込んでください。



D-5 背もたれを取り付ける

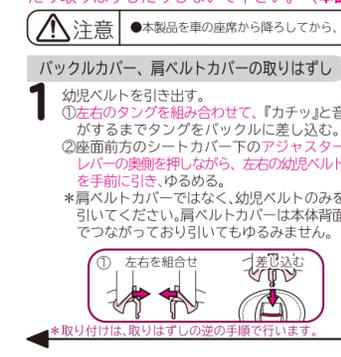
- 1 背もたれを取り付ける。(B-1参照)
1背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

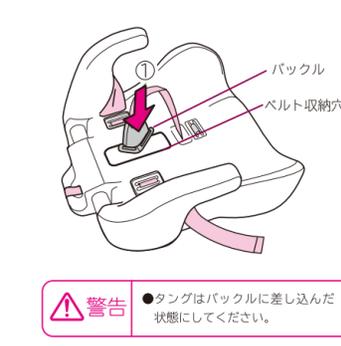
D-6 背もたれを取り付ける

- 1 背もたれを取り付ける。(B-1参照)
1背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。



D-7 背もたれを取り付ける

- 1 背もたれを取り付ける。(B-1参照)
1背もたれ下部のジョイント(フック部)を座面の後部のジョイント(シャフト部)に上から差し込む。
2ゆっくりと背もたれを『カチッ』と音がするまで起こす。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順で行います。

D-7 車への取り付け方

車への取り付け方

- ①座席のヘッドレストをはずせる場合は、必ず座席のヘッドレストをはずせる場合は、必ず座席のヘッドレストの高さが調節できる場合は、ベルトポジションナーと同じく少し高い位置に調節する。(本面D-9参照)

警告

- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などにお子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

注意

- お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

■ブースターモードの使い方 E-1 使用前の準備

使用前の準備

体重	22kg以上～36kg以下
身長のみやす	117～145cm
年齢のみやす	6才頃～11才頃
使用方法	幼児ベルトやバックルを収納し、背もたれを取りはずして座面のみで使用します。車両シートベルトでお子さまを直接拘束します。

●体重が 22kg 以上～25kg 以下のお子さまは、ブースターモードでも使用できますが、車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかる場合があります。ハイバックモード(本面D-1参照)のご使用をおすすめします。

警告

- 本製品は3点式シートベルト専用です。2点式シートベルトでは使用できません。
- お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。急ブレーキをかけた際など、車内に転がり、大変危険です。
- 車両シートベルトがチャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を使用しないでください。お子さまが締め付けられ危険です。「シートベルトの種類と使用上の注意」(A-5)を参照してください。
- 車両シートベルトがたるんだ状態で使用すると、ベルトがお子さまの首にかかり、窒息するおそれがあり、危険です。ゆるみがないか確認してからご使用ください。
- 車両シートベルトに傷がある座席には取り付けしないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをするおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。

■チャイルドモードへの戻し方 E-1 幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

幼児ベルトと肩ベルトハンガーの取り出し

ハイバックモード(本面D-1参照)やブースターモード(本面E-1参照)から、チャイルドモード(本面C-1参照)に戻す場合、座面に収納されている幼児ベルトと肩ベルトハンガーを取り出し、セットします。

1 *ハイバックモードの場合、座面から背もたれを取りはずす。
座面カバーを取りはずし(本面G-2参照)、バックル、幼児ベルトの取り付け金具が正しい位置にセットしてあるか確認する。
幼児ベルトをベルト収納穴から取り出す。

2 座面を裏返し、肩ベルトハンガーをはずす。

注意

- *座面から背もたれを取りはずした状態で(B-1参照)、作業を行ってください。

アドバイス

- 肩ベルトハンガーがはずれにくいときは、アジャスターレバーの奥側を押しながらアジャストベルトをゆるめてからはずしてください。
- 肩ベルトハンガーの座面への収納の仕方は、本面D-4を参照してください。

■お手入れの仕方 G-1

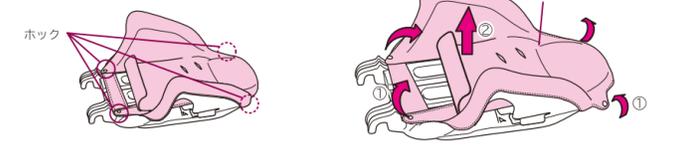
ヘッドサポートの取りはずし

「ヘッドサイドサポートの取り付けと使い方」(本面B-2)を参照してください。

背もたれカバーの取りはずし

あらかじめ、幼児ベルトを引き抜き(本面D-2参照)、座面から背もたれを取りはずしてから(本面B-1参照)、シートカバーを取りはずします。

- ①背もたれにある左右2ヶ所ずつ計4ヶ所のホックをはずす。
- ②背もたれカバーを取りはずす。



*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

D-8 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

以下の点に注意し、本製品に深く座らせてください。

警告

- 本製品は車両シートベルトで固定していない状態では不安定なため、お子さまが1人で乗り降りすると転倒などによりケガなどをするおそれがあります。必ず保護者の方が乗せ降ろしをしてください。
- 図のような座らせ方では、本製品が本来の機能を果たさず、危険です。

注意

- 座面と背もたれの間を衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

E-2 ブースターモードへの変更の仕方

ブースターモードへの変更の仕方

- チャイルドモードから変更する場合、先に本面D-2～D-5の作業を行います。
- ハイバックモードから変更する場合、座面から背もたれを取りはずします。(本面B-1参照)

車への取り付け方

1 ①座席のヘッドレストをはずしては、必ず車両シートベルトの高さが調節できる場合は、最下段まで下げる。

警告

- 座席の背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけ起こしてご使用ください。倒しすぎた状態で使用すると、衝突の際などに、お子さまの体が車両シートベルトの下をすり抜けたり、首にベルトがかかるおそれがあり、大変危険です。

注意

- お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

E-2 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け

3 バックルを満からはずし、ベルト収納穴を通して表に出す。

■座面底

バックル

ベルト収納穴

■座面

股ベルト

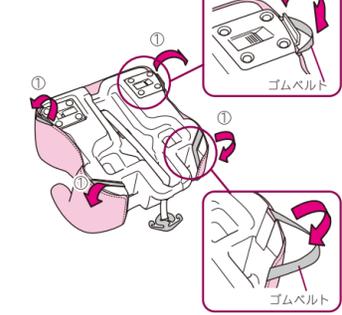
バックル

ベルト収納穴

G-2

座面カバーの取りはずし

- ①座面を裏返してゴムベルトをはずす。
- ②座面を表にして、座面後方からアームレストカバーを取りはずし、座面カバー全体を取りはずす。
- ③ベルト通し穴から幼児ベルトとバックルを引き抜く。



*取り付けは、取りはずしの逆の手順で行います。

一度タンクをはずして

お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタンクを『カチッ』と音がするまで差し込む。

警告

- お子さまの腕は必ず車両シートベルトの上に出してください。

E-3 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

一度タンクをはずして、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタンクを『カチッ』と音がするまで差し込む。

2 座面を車の座席に置いて、車両シートベルトを引き出す。

①車両シートベルト(腰側)を左右のアームレスト下側のベルト通し位置に通す。

②車両バックルにタンクを『カチッ』と音がするまで差し込む。

注意

- お子さまが乗っていないときも、固定しておいてください。

D-9 ベルトポジションナーの取り付けと調節の仕方

ベルトポジションナーの取り付け方

- ①ベルトポジションナーのベルトをベルトポジションナーに通し、穴に通す。
- ②ベルトポジションナーをベルトの輪にくらせて引っぱり、固定する。
- ③左右一方の上段の肩ベルト通し穴と背もたれカバーを通し、ベルトポジションナーを正面側に出す。

警告

- 車両バックルの反対側にベルトポジションナーを出してください。

注意

- 本体背面

E-3 お子さまの座らせ方

お子さまの座らせ方

一度タンクをはずして、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して、車両バックルにタンクを『カチッ』と音がするまで差し込む。

2 ①幼児ベルトを左右の差込タンクに、ねじれないように注意しながら通す。

警告

- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上に出してください。

D-10 ハイバックモードの取り付け完了チェック

ハイバックモードの取り付け完了チェック

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

Check

- ①本製品と車の座席との間に大きなすき間がないこと。
- ②車両シートベルト(肩側)が、ベルトポジションナーを通り、お子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ④車両シートベルト(腰側)がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
- ⑤車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルトが左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

警告

- 以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度本面D-7～D-9の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

E-4 ブースターモードの取り付け完了チェック

ブースターモードの取り付け完了チェック

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締め、①～⑥を必ず確認してください。

Check

- ①車の座席のヘッドレストが取り付けられていること。
- ②車両シートベルト(肩側)がお子さまの首にかかっていないこと。また、確実に肩にかかっていること。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着して、ゆるみ、たるみ、ねじれがないこと。
- ④車両シートベルト(腰側)がお子さまの腰骨のできるだけ低い位置にかかっていること。
- ⑤車両シートベルトのタンクが車両バックルに確実に差し込まれていて、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルト(腰側)が左右のアームレスト下側のベルト通し位置を通っていること。

警告

- 以上の項目をチェックして、しっかり取り付けられていない場合は、もう一度本面E-2～E-3の手順で取り付けをやり直してください。やり直してもしっかり取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険です。

E-2 幼児ベルトの取り付け

幼児ベルトの取り付け

1 ①本体背面から、肩ベルトカバーをお子さまに適切な幼児ベルト通し穴に通す。
*「幼児ベルトの高さ調節」(本面C-1)を参照してください。

2 ②肩ベルトカバーを背もたれ正面に引き出す。

警告

- この作業は本体が不安定な状態になりますので、座面から背もたれを取りはずした状態で(本面B-1参照)、作業を行ってください。

H 保管/廃棄の仕方/製品仕様

洗濯方法

シートカバーなどの縫製製品の洗い方

- 肩ベルトカバー・シートカバー・バックルカバーは中性洗剤を使用し水またはぬるま湯で押し洗いしてください。
- 脱色は避け、タールなどで押し絞らず、風通しのよい日かげに干してください。

日常のお手入れ方法

- 樹脂部は水または、から拭きしてください。
- 掃除機などで、ほこりやごみを取ってください。
- 飲み物など、しみの落ちやすいものをこぼしたときは、乾かないうちに拭き取ってください。
- ガソリン・シンナーのご使用は、表面の生地や樹脂をいためますので、絶対におやめください。

保証書

保証書

保証期間 お買い上げ日より1年間(ただし保証規定による)

商品名 シリアルNo.(座面の底面に貼ってあるシールに記載されています)

お買い上げ日 年 月 日

お客様 ご住所(〒) TEL

お名前

住所(〒) TEL

販売店 店名

保証規定

1. このチャイルド&ジュニアシートは、お買い上げ日より1年間です。
2. 保証期間内に正常な使用状況において、万が一故障した場合には無料で修理いたします。
3. 保証期間内であっても次のような場合は修理無料となります。
 - ・落下や衝撃によるプラスチック部品の破損。
 - ・シートカバー等、縫製部品の摩耗や破損。
 - ・お客様の誤用、または改造や不当な修理による故障及び損傷。
 - ・火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障及び損傷。
 - ・本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を意図的に変更された場合。
 - ・本書の二重写しがない場合。
 - ・一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
 - ・有料修理の場合に要する運賃等の諸経費。
4. 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
5. 重大な事故や一度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。

万が一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は、再修理いたしませんので、大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものではありません。従ってこの保証書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

side 4

警告

- 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

製品仕様

製品サイズ: W440×D460×H660

製品重量: 本 体…4.6kg

本 総重量…5.9kg

材 質: 本 体…PE

シートカバー…表/ポリエステル 裏/ウレタン

リーマン株式会社

〒496-0911 愛知県豊田市西保町南川原 68-1

お客様相談室 TEL: 056477-0173

受付時間 月曜日～金曜日(祝日・弊社指定日除く)AM10:00～12:00 PM1:00～5:00

※製品には万全を期しておりますが、万一不都合な点がございますらお客様相談室へご連絡ください。

※製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。